

## 教育委員会会議 平成30年3月定例会 会議録

日 時	平成30年3月22日 (木) 13:30 開会                      14:40 閉会	会 場	教育委員会室
出席委員	原田 良一      寺元 貴幸      森 尚美      長江 真理子	尾島 邦昭	
出席職員	絹田学校教育部長      松尾生涯学習部長      忠政こども保健部長		
	戸田学校教育部次長(兼)企画調整官(兼)教育総務課長      朝田生涯学習部企画調整官		
	後藤生涯学習部次長(兼)スポーツ課長      小郷文化課参事		
	平井こども課長      松田学校施設課長		
	影山学校教育課長      丸山保健給食課長      安藤生涯学習課長		
	小川図書館長      尾島津山市史編さん室長      仁木教育総務課主幹		
	近藤教育総務課主任		
議 事	案 件	担 当 課	
<p>1.開 会</p> <p>2.教育長あいさつ</p> <p>3.会議録署名者   について</p> <p>4.前回会議録の   承認</p> <p>5.教育長等の   報告</p> <p>6.議 事</p> <p>(1)議 案</p> <p>(2)報 告</p> <p>7.その他</p> <p>(1)各課からの   お知らせ</p> <p>(2)次回定例会の   開催について</p> <p>(3)その他</p> <p>8.閉会</p>	<p>平成30年度教育行政重点施策の策定について</p> <p>津山市青少年育成指導委員の委嘱について</p> <p>津山市歴史文化基本構想等の策定に関する諮問書について</p> <p>津山市スポーツ推進委員の委嘱について</p> <p>市議会3月定例会の質問答弁について</p> <p>津山圏域定住自立圏の形成に関する協定に基づく特別支援教育推進センター事業の実施について</p> <p>第70回優良公民館表彰受賞について</p> <p>市立図書館設置40周年記念事業「図書館総合展2018 地域フォーラムin津山」</p> <p>第26回津山加茂郷フルマラソン全国大会の参加申込状況について</p> <p>津山市教育委員会会議4月定例会の日程について</p> <p style="text-align: right;">平成30年4月26日(木)午後1時30分から</p>	<p>(教育総務課)</p> <p>(生涯学習課)</p> <p>(文化課)</p> <p>(スポーツ課)</p> <p>(各課)</p> <p>(教育総務館)</p> <p>(生涯学習課)</p> <p>(図書館)</p> <p>(スポーツ課)</p>	

傍聴者 0名

# 教育委員会会議 平成 30 年 3 月定例会 会議録

( 13 : 30 )

## 1. 開 会

## 2. 教育長あいさつ

## 3. 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第 15 条第 2 項の規定による。

## 4. 前回会議録の承認

全員賛成

## 5. 教育長等の報告

今回は該当なし

## 6. 議事

### (1) 議案

#### 平成 30 年度教育行政重点施策について (教育総務課)

概要説明

重点施策は、津山市教育振興基本計画第 2 期に記載する平成 30 年度に取り組む重点施策について、取りまとめたもの。2 月の定例教育委員協議会に (案) を提示して以後、ご指摘をいただき修正している点を 3 ページに記載している。また、市長選が 2 月に行なわれた関係で、平成 30 年度当初予算は所謂“骨格予算”となっている。政策的判断が必要な事業については、6 月議会で肉づけが行われた後、6 月補正確定後に再度、修正を加える。本日は、当初予算に計上している事業のうちから、平成 30 年度教育行政重点施策をとりまとめており、ご確認いただきたい。

全員の挙手により原案通り可決承認

#### 津山市青少年育成指導委員の委嘱について (生涯学習課)

概要説明

現在の委員の任期が今年の 3 月 31 日に終了することに伴い、新しい委員の委嘱を行うもの。委員の任期は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日の 2 年間である。指導委員は 204 名。名簿を 6 ページから 10 ページまで記載している。民生児童委員・保護司・連合町内会に属する青少年健全育成に経験のある有識者の方々である。1 番から 186 番までは、連合町内会から推薦のあったの方々。187 番から 195 番までは、保護司会から推薦があった方、196 番から 204 番までは、民生児童委員連合協議会から推薦のあったの方々。

全員の挙手により原案通り可決承認

#### 津山市歴史文化基本構想等の策定に関する諮問書について (文化課)

概要説明

文化財は貴重な財産であるが、現在、文化財保護法に基づき、指定文化財については保護措置をとっている。一方、津山市を取りまく社会情勢により、伝統や文化が失われつつある。また、未指定の文化財については、手を付けていないものも沢山ある。未指定の文化財も対象に含めた保護施策の充実や、文化財を継承するための担い手の確保、社会全体で支えていく仕組みづくりが急務であると考えている。これを受けて、地域振興や観光振興との連携を含めた施策、「歴史文化基本構想」を策定するため、審議会を立ち上げており、教育委員会から諮問書を提出するように考えている。12 ページに 6 項目記載しているが、1. 文化財の基本的考え方と方針、2. 関連文化財群に関する事項、3. 歴史文化保存活用区域に関する事項、4. 主要文化財の具体的な保存活用計画作成の考え方、5. 文化財の保存・活用を推進するための体制整備の方針、6. 審議の結果を歴史文化基本構想及び保存活用計画として取りまとめる。この 6 項目を審議会に諮問することを考えている。本市の歴史文化の指定・未指定に関わらず、文化財を調査

し、それぞれの保存・活用の方法を構想及び計画としてまとめることが、津山市の歴史文化基本構想である。

全員の挙手により原案通り可決承認

### 津山市スポーツ推進委員の委嘱について（スポーツ課）

概要説明

津山市スポーツ推進委員は、スポーツ教室の指導、スポーツ行事の補助等をしていただく方である。スポーツ基本法・津山市スポーツ推進委員に関する規則により、任期がここで終了するため、新たに委嘱するもの。藤田長久委員を含め57名である。平成30年3月31日まで61名を委嘱しており、4名の減となる。委嘱年月日は、平成30年4月1日。任期は、平成32年3月31日までの2年間となる。次ページに57名の名前を記載している。この方々の選び方は、各中学校区を基本に8地区、それぞれの指導者の地域バランス、人数バランスを含めて、この8地区から欠員補充も含めて選んでいる。ただし、活動は、この地区にとどまるものではなく、全市的に行っている。

全員の挙手により原案通り可決承認

## (2) 報告

### 市議会3月定例会の質問答弁について（各課）

概要説明

（学校教育部）

各課とあるが、各部単位で報告する。3月議会は、2月26日から3月20日の会期で開催された。一般質問は3月5日から3月7日の3日間行われ、代表質問4会派と個人質問6人が行われた。新市長就任後日が浅かったこと、所信表明が6月に行われること、4会派が代表質問の形式をとったことなどがあり、教育委員会関係への質問は、比較的少ない議会であった。15ページから27ページにかけて、教育委員会に関する質問・答弁を載せているのでご確認いただければと思う。

その中で、学校教育部には、学力向上に向けた取り組みや、学力テスト、特に目標値に関して質問が寄せられた。目標値設定に関する考え方は、「引き続き県の平均正答率を上回ることを目指していきたい」と答弁している。併せて、子どもたちに身に着けて欲しい力について教育長の方から「私が教育長に就任して以来、各学校のもとで、一人一人の子が「生きる」ことを大切し、やる気であきらめず取り組んでいける、そんな基本的な力をつけてやりたいと考え取組を進めてまいりました。私は、いつも、子ども達が自信をもって世の中に出て可愛がってもらえる、そんな子を育てたい、と考えております。そして、その基盤にあるのが、先生方、保護者が笑顔で元気のある学校だと思えます。子ども達は、様々な家庭環境や学習環境の中で、精一杯生きています。子ども達は、様々な家庭環境や学習環境の中で、精一杯生きています。それは、先生方も、保護者も同じです。子ども達の健やかな成長は、私たちの願いです。そして、人づくりはまちづくりであり、地域社会に活力と夢と希望をもたらすと思えます。津山市の教育は大きな課題を抱えながら、少しずつではありますが、目標に向けて前進しております。将来を担う子ども達が、確かな学力を身につけ、豊かな人間性をもって、成長し続けるための基盤である「生きる力」が養えますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。」と答弁している。

また、市長の公約にあった給食費の無償化の財源についての質問があり、4億3千万円と試算していると答弁している。

整備中のICT機器について、3年間で順次導入するという計画に関して、2か年でできないか、という質問に関しては、財源や人材の確保の関係で困難であり、計画通り進めたいと答弁している。

（こども保健部）

こども保健部については、吉田議員から幼稚園関係の質問をいただいている。幼稚園と文化センターは何故、選挙後に入札を行い、新市長の思いと考えを反映しなかったのかとの質問に対して、幼稚園新築事業の進捗管理について答えている。幼稚園再構築事業は、平成27年5月に計画を策定し、「津山市子ども・子育て審議会」での協議や「建設検討会」での検討を行い、平成31年4月の開園に向けて進めていること。建築工事の予算については、平成29年度当初予算において承認いただいております。今回、上程している工事請負契約の議案についても平成31年4月の開園に向けた進捗管理上の必要から、今議会へ上程させていただいたことを答弁している。

（生涯学習部）

生涯学習部について、まず、吉田議員からの質問で、文化センターは、なぜ選挙後に入札をしなかった

のかとの質問に、「プロポーザルが再々公募に至ったことで、12月議会での提案予定がずれ込んだことや、同センターは、屋根防水や空調など老朽化が著しく、本格的な改修は待ったなしの状態である。さらに、財源として社会資本整備総合交付金や合併特例債の活用を予定しており、こうした財源の制度スケジュールに合わせる必要もある。加えて、市民の文化活動への影響なども予測されることから、これまでの計画どおり、平成31年度末の事業完了を見据え、今議会に議案提案したものである。再度、市長に質問があり、幼稚園と津山文化センターの工事請負議案に対して市長の思いを聞かせてもらいたいとの質問に、幼稚園新築事業と津山文化センター改修事業につきましては、私なりの想いもありましたが、私としても熟考したうえで契約議案を提案させていただきました。2つの幼稚園につきましては、さらに利便性が増すように、また文化センターにつきましては実施設計における事業精査を追加で指示しております。今後、これらの事業を進めるにあたっては、本市の子育て及び文化・芸術活動の中核施設として、将来にわたり市民の貴重な財産となるよう、整備に取り組んで参りたいと考えております。」と答弁している。

安東議員からも質問があった。加茂中学校で行った「だっぴ」について、その効果も踏まえて平成30年度はどのように実施していくのかとの質問に、「中学2年生を対象に、地域の大人・大学生がグループとなり実施した。参加者には、様々な生き方や価値観にふれ、お互いに自己を振り返り、社会の中の自分・津山で育っている自分を意識する機会となった。実施後の中学生のアンケートを見ると、「いろんな職業の人の話を聞くことができ、将来について考えることができた。」「いろんな夢を持った大人がいる。とても勉強になった。」「自分の知らない自分を発見することができた。」などの感想を記入してくれています。本事業の実施により、地域に関心を持ち、地域を創っていくことのできる人材の育成と郷土愛の醸成を育む効果があると考えています。平成30年度につきましては、実施校を増やす方向で学校等と調整していきたいと考えております。」と答弁している。

#### **津山圏域定住自立圏の形成に関する協定に基づく特別支援教育推進センター事業の実施について(教育総務課)**

##### **概要説明**

津山圏域定住自立圏の形成に関する協定に基づく特別支援教育推進センター事業を4月1日から新しく定住自立圏事業として取り組むので、ここで報告する。そもそも定住自立圏とは、定住自立圏は、市町村の主体的取組として、「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進することを目的として取り組むもの。津山圏域定住自立圏事業は、現在36事業に取り組んでいる。平成30年4月1日からは、2事業増えて38事業になる予定である。その中で、教育分野は2事業、特別支援教育推進センター事業は平成30年4月1日から始める事業、不登校児童生徒支援事業は、平成29年4月1日からすでに取り組んでおり、鶴山塾の取り組みになる。今回、新しく取り組む特別支援教育推進センター事業は、特別支援教育推進センターを、圏域内の特別支援教育の拠点施設として位置づけ、新たに圏域の未就学児の受け入れを行うとともに、圏域内の児童、生徒についての教育相談体制を強化し、特別な教育的ニーズに応じた通級指導を行う。また、在籍する学校、園等と連携して、幼児、児童、生徒の生活や学習の充実を図るもの。簡単に申し上げると、通級指導の対象を未就学の部分については、津山市に住所がある方のみ対象としていたが、圏域に拡大したものである。先程、申し上げたように、平成30年4月1日から取り組みを始めるべく準備を進めている。

#### **第70回優良公民館表彰について(生涯学習課)**

##### **概要説明**

去る3月8日文科科学大臣より、津山市院庄公民館が、優良公民館表彰を受けた。優良公民館表彰は、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるもの。本年度、岡山県は津山市院庄公民館が受賞の該当となった。受賞の理由として、院庄公民館は、学校や家庭、地域が連携した多様な事業をコーディネートし、子どもを支援する事業の充実や支援体制の強化を図っている。さらに、地域ボランティアが小学生に学習支援やものづくり体験等を行う「夏休みわくわく教室」を実施し、地域を挙げて子どもたちを育てる雰囲気づくりを進めるとともに、子どもたちと地域住民が交流を深め、世代間をつなぐ場を創出する役割も果たしていることが評価されたもの。

## **7. その他**

### (1) 各課からのお知らせ

#### 市立図書館設置 40 周年記念事業「図書館総合展 2018 地域フォーラム in 津山」の開催について（図書館）

##### 概要説明

津山市立図書館は昭和 53 年 4 月に条例設置し、旧市役所に設置され平成 30 年で 40 周年を迎える。その 40 周年を迎えるにあたって、記念事業を行ないたい。今、図書館で準備を進めているが、図書館総合展という、図書館が関係する事業で一番大きな事業になる。そちらを誘致する。図書館総合展は、民間企業が行ない、首都圏で行う本展と全国で 3 ケ所程度行う地域フォーラムがあるが、その地域フォーラムを開催することで、誘致が決定した。日にちは、平成 30 年 5 月 19 日、場所は美作大学で行う。内容については、主催者として運営委員会という組織があるが、そちらと津山市とで調整を行っており、慶応大学の先生、文部科学省の方から講演をいただくような事業が進んでいる。正式には 3 月 28 日に、運営委員の方が図書館にお見えになり、最終的に決定する運びとなる。4 月の委員会の時には正式な私たちの報告、委員の皆様へのご案内ができるように準備が進むものと思っている。是非とも参加をお願いする。

それとは、別に、図書館便りに記載しているが、図書館で行っている定例的な行事に 40 周年記念という冠をつけたものを何点か計画させていただいている。お時間があれば寄っていただきたい。

#### 第 26 回津山加茂郷フルマラソン全国大会の参加申込状況について（スポーツ課）

##### 概要説明

4 月 15 日 10 時から加茂町スポーツセンターグランドで行う。申込者は、北海道から沖縄まで合計 1,914 名。フルマラソン 1,596 名、ミニマラソン 318 名である。岡山県内の参加者は 1,101 名で、半数以上は県外からの参加であり、交流人口の増に効果があると思っている。ただ、いつも 2,000 人を基準にしているが、今回は 2,000 人を割っている。これは、同日に広島県でフルマラソンの大会ができた。マラソンブームで、ライバルが現れている。来年以降、PR の工夫も重ね、2,000 人はクリアーしていきたいと思っている。

### (2) 次回定例会の開催について

教育委員会会議 4 月定例会を平成 30 年 4 月 26 日（木）午後 1 時 30 分から開催。  
全員賛成により決定

### (3) その他

## 8. 閉会

(15 : 35)